

第16回身近な水環境の全国一斉調査結果報告

活動のねらい

本活動は平成25年6月の「第10回身近な水環境の全国一斉調査」から続けて参加している活動です。第16回（令和1年）で連続7回参加しています。活動のねらいは次のとおりです。

1、統一的なマニュアルに基づいて河川流域の多くの人たちが調査するので、面的につながりのある結果が得られる。2、調査に参加した人たちとの連携を深めることができる。との背景からパートナー有志が参加していません。

○調査の概要

調査日及び参加者数：令和1年6月2日（日）7名（パートナー梅田、小松、栗原、西條、杉山、目次、浅野）

調査内容、方法：統一調査マニュアルに基づく気温、水温、試水水温、パックテストによるCOD測定、透視度、電気伝導度を調査しました。この他、特記事項として水辺の状況・流れ・濁り・散乱ごみ・川の変化についての意見（今と昔）、を実施しました。

調査地点：調査地点は、前年（第15回）と同じ地点としました。

第15回：桜川（禊橋）、清明川（阿見橋）、小野川（下根大橋）、巴川（新巴川橋）

第16回：桜川（禊橋）、清明川（阿見橋）、小野川（下根大橋）、巴川（新巴川橋）

○調査結果

調査地点	調査年月日	天候	気温(°C)	試水水温(°C)	透視度(cm)	EC(mS/m)	T-N(mg/l)	T-P(mg/l)	COD測定値(mg/l)		
									1回目	2回目	3回目
桜川 (禊橋)	H30.6.3	晴	28	26	57	22.3	—	—	8以上	8以上	8以上
	R1.6.2	曇	22	22	58	27.2	—	—	3	3	3
清明川 (阿見橋)	H30.6.3	晴	30	23	100以上	34.0	—	—	5	5	5
	R1.6.2	薄曇	28	21	100以上	31.0	—	—	3	3	3
小野川 (下根大橋)	H30.6.3	晴	26	20	31	25.0	—	—	8	8	7
	R1.6.2	薄曇	28	24	98	24.7	—	—	5	5	5
巴川 (新巴川橋)	H30.6.3	晴	30.5	24	45	26.5	—	—	7	8	7
	R1.6.2	曇	25.0	20.0	41	30.2	—	—	7	5	5

※EC：電気伝導度を表す、数値が低いほど良い。T-N：全窒素、T-P：全リンを表す。COD：水の汚れ具合を表わし、数値が低いほど良い。

特記事項

桜川（禊橋）～水量多く、少し濁っていた（うす黄色。）散乱ごみなし。農業用水用のため堰き止められていた。鳥、水すまし、チョウを確認。

清明川（阿見橋）～以前より清澄。河川周辺の草刈りがなされている。

小野川（下根大橋）～水量多く、思ったより水澄んでいた。魚影なく、川岸には草木繁茂していた。

巴川（新巴川橋）～水は流れている（川底見えない）。風ほとんど無く、ゴミ流れていない。オギ、ヨシ群生。ヨシキリ、うぐいすの鳴き声あり。

○活動状況の写真



桜川（襖橋） R1.6.2



清明川（阿見橋） R1.6.2



小野川（下根大橋） R1.6.2



巴川（新巴川橋） R1.6.2
（パートナー 浅野）